

## 2023 年度 福祉助成金（活動助成） 成果報告書

ふりがな	えぬびーおーほうじんいちじく	
団体名	NPO 法人無花果	
代表者名	中藤寛人	
連絡先	住所	岡山県岡山市北区駅元町 25-14
	TEL	070-8446-7663
	E-mail	info@1zk.or.jp
	URL	<a href="https://www.city.okayama.jp/dsearch">https://www.city.okayama.jp/dsearch</a>
設立年（西暦）	2022 年	
助成活動名	「教育をとどける」ために相談環境と教育を提供する、「無償のフリースクール」実現のための仕組み構築	
助成額	3,000,000 円	
活動内容	目的	<p>学校に行けないこと（だけ）で「学びの機会」を得られない義務教育期間中の子ども達に、「教育をとどける」ことを目的とする。</p> <p>社会政策、福祉の観点から、義務教育期間中の教育には入口と出口の平等、つまり、義務教育期間中に教育を受けたいカタチで誰もが受けられる「入口の平等」と、一定以上の学びを得て義務教育期間を誰もが終えられる「出口の平等」が保障される必要がある。</p> <p>岡山市には、文部科学省の統計上で不登校と定義された小中学生が 1,270 人いる。また統計上、全国の不登校の小中学生の約 11%が、公的支援も民間支援も受けていないというデータが出ている。単純には当てはめられないが、岡山市にも約 140 名の、支援が届いておらず教育を受けられていない子ども達がいることが推測される。</p> <p>実際に無花果では、今日までで 180 件の相談を受けてきた。その内約 5 割の家庭が「金銭的な理由」でフリースクールの利用を断念した。まずはこの 90 家庭に教育をとどけるという「入口の平等」という観点からも、家庭の経済事情に関わらず「教育を受けられる」環境を社会全体として整備をする必要があり、その一翼を無花果は担っていく。</p>
	内容	<p>①フリースクールの利用を考えている家庭との面談</p> <p>NPO 法人無花果（以下「無花果」）では、フリースクールの利用を考えている家庭や、学校に通うことに難しさを感じる子どもがいる家庭を対象に、毎日面談を実施しました。また、原則面談はフリースクールにお越しただいて対面で実施をしたのですが、フリースクールへ行くことに心理的・物理的障壁がある家庭には、オンラインでの面談も実施しました。</p> <p>②岡山市をはじめとした企業への訪問と活動紹介</p> <p>無花果は、子どもたちの活動を支援したいが具体的な支援策が定まっていない企業が存在すると仮定し、企業訪問を行いました。訪問では、無花果の活動内容や思いを説明し、具体的な支援策の一つとして寄付を募りつつ関係性を構築しました。</p> <p>③2023 年 11 月～「フリースクール無償化」の開始</p> <p>2023 年 11 月より、週 1 回午前中のフリースクール利用を無償化しました。従来は中学 3 年生のみを対象としていましたが、11 月以降は全利用者が対象となります。</p> <p>④岡山県内外の小中学校へ無償化開始の伝達</p> <p>岡山市近隣を含む岡山県内外の小中学校に対し、2023 年 11 月からのフリースクール無償化</p>

	<p>の開始を伝達しました。無償化の旨だけでなく、無花果で行われている子どもたちの活動を、学校の先生方にお伝えすることを目的とした具体的な施策も実施しました。(施策の一部を写真欄に添付)</p> <p>⑤無花果のサイト制作と内部に寄付ページを記載</p>
<p>成果</p>	<p>①フリースクールへ通うことの検討のためだけでなく、学校以外の選択肢を考えるために面談にきてくださる家庭が増えました。また、オンラインでの面談を実施することにより、フリースクールがある岡山市に行かなくても「フリースクールの実施体制や雰囲気」などを知っていただくことが可能になりました。オンライン面談数の増加から、面談への心理的なハードルが下がったことがうかがえます。</p> <p>②岡山市で活動をしているフリースクールの活動状況や子どもたちの活動の様子を企業にお話することで、岡山市を始めとした企業に子どもたちの活動の様子を知っていただくことができました。また最初のステップとして「寄附」ではないカタチでのご協力関係を構築することを通じて、中期的な目線で「寄附」につながるような関係性を確かに構築することができました。</p> <p>③教育機会の確保に難しさを感じていた家庭に、金銭的な理由を考えることなく、選択肢の一つにフリースクールを挙げていただくことが容易になりました。「フリースクールへ通う」という選択肢が従来以上に選びやすくなったと言えます。</p> <p>④フリースクールには「行なっている活動が見えづらい」「そもそも存在を知らない家庭も多い」という課題がありました。今回の活動で、各学校や家庭にフリースクールの存在をより知っていただくことができ、「学校に行くことが難しくなった際の選択肢」としてフリースクールをよりよいイメージで想起してくださる方が増えました。</p> <p>⑤無花果の活動を応援したい方が、時間を問わずサイトを通して子どもたちの活動を寄付という形で応援しやすくなりました。</p> <p>2024年5月現在、無花果への問い合わせ件数や相談件数は500件以上に達しました。2023年11月の無償化開始以降、問い合わせ件数は前年同月比で約80%増加しました。このことから、金銭的な理由でフリースクール通室を断念していた家庭にとって、フリースクール通学が現実的な選択肢となり始めました。</p> <p>また、企業や地域の方々からの応援により、年間で約140万円の寄付を受け取りました。この寄付により、フリースクールの一部無償化を実現することができました。無償化によって、フリースクール通学を検討する際の「金銭的理由」という障壁が下がり、フリースクールへの一歩を踏み出すことが容易になったことが伺えます。</p>

今後の課題と対応策	<p>地域の方々の応援もあり実現した「フリースクール無償化」によって、通学を考える際の「金銭的理由」を限りなく少なくすることができました。しかし、小中学生の不登校児童生徒数は前年度比 22.1%増の全国で 299,048 人、岡山県で 3,668 人に達しています。全国の不登校児童生徒の約 38.2%が公的支援や民間支援を受けておらず、岡山県内でも支援が届かず教育を受けられない学生が約 1,401 人いると推測されます。今回の活動を通じて、「金銭的な理由」だけでなく「教育機関や支援策を知らないこと」も子どもたちが教育を受ける上での課題の一つであることを痛感しました。今後は「教育機関や支援策を知らないこと」を課題の一つとして軸に置き、現在の活動に加えて教育支援の周知を図るための「相談業務」に注力していきます。</p> <p>そして、この度「年間で約 140 万円」の寄附を集めることができましたが、こちらの寄附金をより増やしていくためのアクションは必須です。この 1 年間、助成をいただきながら活動ができたことで、「どのようなカタチであれば、学費に頼らないスクールの運営を実現していくことは可能か」が見えてきました。「企業スポンサーさん等と一緒に、“よい教育”の北極星としてのフリースクールをつくっていく」という具体的な未来を、引き続きつくってまいります。</p>
-----------	--

# 無花果もえぎ フリースクール

基本情報 ~ 学校説明資料 ~

## 無花果もえぎ フリースクールとは？

無花果もえぎフリースクールは、2021年より開設された、小学生～高校生を対象とした、岡山県内から徒歩5分の一軒家で運営されているフリースクールです。2022年より通信制サポート校「無花果高等学校」を併設して開設し、2024年5月現在、小学生～高校生を含め、合計60名の生徒が在籍しております。



## 1日のカリキュラムは？

強制のカリキュラムは存在しません。  
 (勉強をできる時間もありますが、参加は自由です。)  
 自身が過ごしたい時間を、1人・みんなで、中長期間過ごす中で、湧き出てきた「興味」や「感情」をもとに、1人1人のカリキュラムがスタートします。



## 無花果での多様な学び

無花果では「あそび」を大切にしています。  
 例えばこれまで  
 デザイン / esports / イラスト制作会 / ゲーム大会 / オタク / 音楽 / 漫画 / 読書 / 運動会 / etc.  
 などのほか、「自然の理」をもとに活動したり、そこから多様なプロジェクトがスタートしております。



・そんなことを、をよりしていきたいか  
 ・どんな自分で居たいか



他者と関わり合いながら、  
 このようないきかたに目を向ける中、  
 学びの機会がもたらされていると考えています。



学校に行っている / 行っていないに関係なく、  
 生徒一人一人が、  
 「学びたいことを実践できる環境」を、  
 「学びたいことを実践できる環境」を、  
 無花果では、保護者さん、生徒の在籍校の先生・地域の方・企業さんともつづることを大切にしています。

「自業・自業」を大切にしているからこそ、  
 学びの観点となる「感情」や「興味」に丁寧に目を向けた  
 「社会に関わったフリースクール」を、これからも運営してまいります。

## 通い方 / 料金に關して

無花果もえぎフリースクールには、1日単位で通うことが可能です。(週1日～3日程度通う生徒が多いです。)  
 2024年5月現在、月額料金は週1日通う生徒が約15,000円、週2日通う生徒が約25,000円、週3日通う生徒が約35,000円です。



なお、2023年11月よりフリースクールの「午前学習無償化」を実施しており、家庭環境に関係なく教育を受けられる仕組みをうけています。

## スタッフ / 運営法人に關して

毎日2名～5名のスタッフが常駐しております。  
 生徒と関わるスタッフは20代が中心となっておりますが、ボランティアの皆さんにもお助けいただきながら運営しております。1日1名～4名程度いるスタッフが常駐しております。



運営法人は、「よい教育をつくる、ととびら」を理念に教育事業を展開している無花果グループ (NPO法人無花果・無花果InC.) であり、非営利と資料の活動のゆけ、教育事業を行っております。



無花果InC.の役員には、例えば春原昌之さん(グループ代表)の真摯な姿勢に「感動」を覚える機会も少なくありません。また「感動」を覚える機会も少なくありません。また「感動」を覚える機会も少なくありません。



## そのほか、出席扱い等の実績

【出席扱い実績】  
 岡山県立岡山南中学校 / 岡山県立笠岡中学校 / 岡山県立西大寺中学校  
 岡山県立瀬戸中学校 / 岡山県立瀬戸中学校 / 岡山県立瀬戸中学校  
 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校  
 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校  
 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校

【その他実績】  
 文部科学省「特別支援学校の施設整備計画」の調査対象校として  
 岡山県教育委員会「特別支援学校の施設整備計画」の調査対象校として  
 岡山県教育委員会「特別支援学校の施設整備計画」の調査対象校として  
 岡山県教育委員会「特別支援学校の施設整備計画」の調査対象校として

「月報無花果」2024年3月号に「From Banner」として掲載

## 無花果グループ

事業内容：無花果もえぎフリースクール等  
 所在地：岡山県岡山市北区東光町25-14  
 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校 / 岡山県立大塚中学校  
 対象：小学生～高校生  
 営業時間：火曜日から金曜日 10時～16時30分 (休日は18時まで)

## お問い合わせ先

電話番号：078-846-7643  
 メール：moe@moe.or.jp  
 住所：岡山 (みずがけ)



写真の提出

